

2022年12月23日

報道関係者各位

GROUND 株式会社

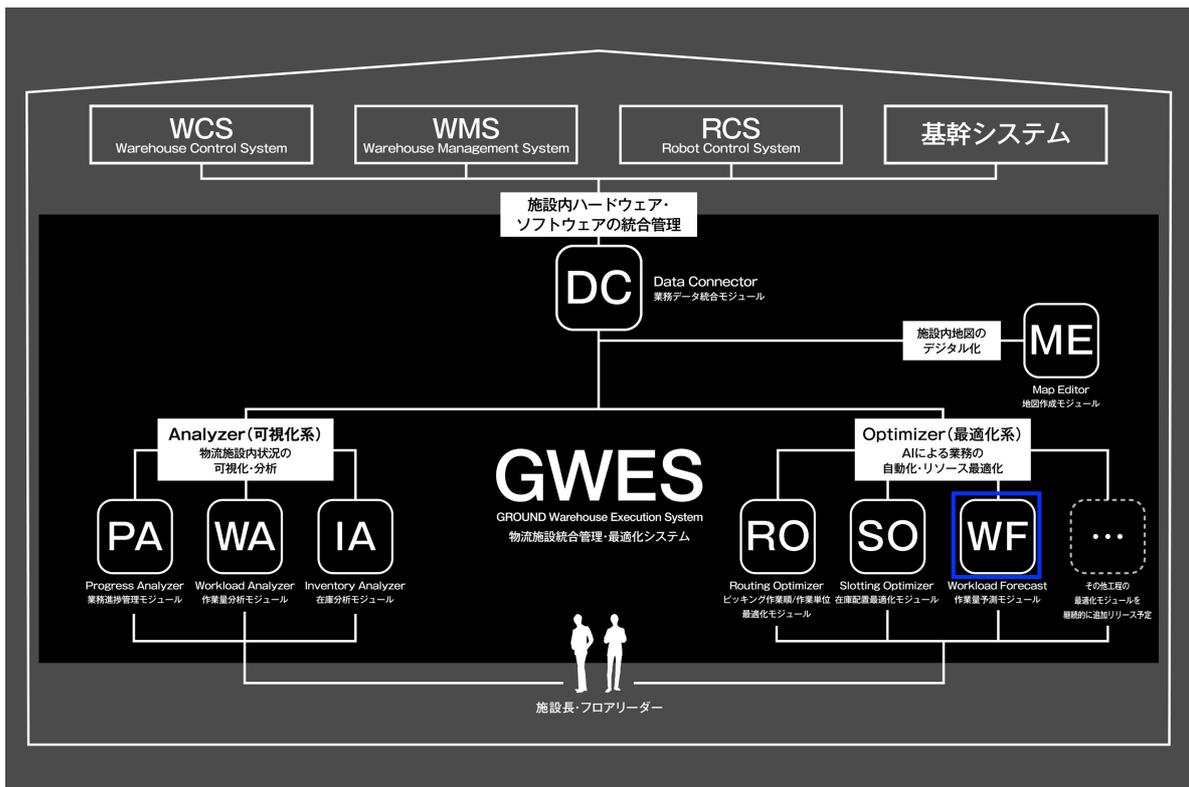
**GROUND、**

ジータブリーエス  
**倉庫実行システム『GWES』の新機能モジュール**

ワークロード フォーキャスト  
**物流施設における作業量を予測する『Workload Forecast』を提供開始**

- 状態空間モデルを活用したAI(時系列分析)を採用し、高度化・複雑化したEC物流の作業量と物量を予測 -

日本のLogiTech<sup>®</sup>\*1をリードするGROUND株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長 CEO: 宮田 啓友、以下「GROUND」)は、2022年12月23日(金)より、自社開発した物流施設統合管理・最適化システム『GWES』(ジータブリーエス:『GROUND Warehouse Execution System』)の新たな機能モジュールである『Workload Forecast』と既存モジュール『Inventory Analyzer』の機能強化版を提供開始します。



『GWES』は、今後国内で需要が高まることが予想されるWES(Warehouse Execution System:倉庫実行システム)として、ミドルウェアとなる共通データ基盤、そしてAIを適用した各種機能モジュール群で構成されている汎用性・拡張性の高いパッケージシステムです。

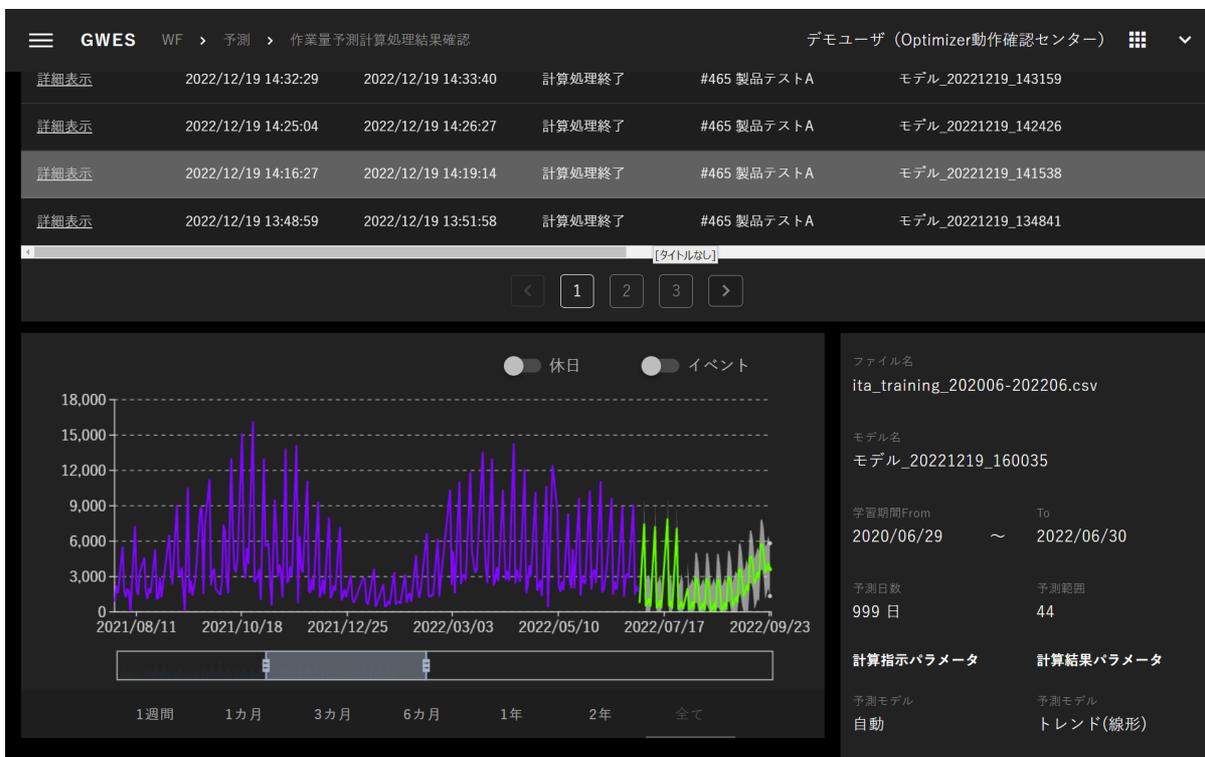
今回提供を開始する作業量予測モジュール『Workload Forecast』と在庫分析モジュール『Inventory Analyzer』の機能強化の概要は以下の通りです。

## ■ 作業量予測モジュール『Workload Forecast』の概要と特長

『Workload Forecast』は、『GWES』における AI を活用した最適化モジュールの一つであり、物流施設における過去の作業実績や営業日、特定のイベント情報(セール開催日、月末月初等に発生する特殊な荷動き)を学習することにより、当日を含む未来の作業量を予測します。

本モジュールは、その前身となるシステムにおいて導入実績があり、複数の事業者の物流現場での PoC<sup>※2</sup> を経て開発されていることから、さまざまな物流施設のニーズに応えられる実用性と利便性が高いシステムとなっています。

物流施設における固有情報やトレンドを自由に設定し、年・月・週単位の波動をどれくらいの優先度で反映するかなどを指定することにより、より精度の高い作業量を予測することも可能です。



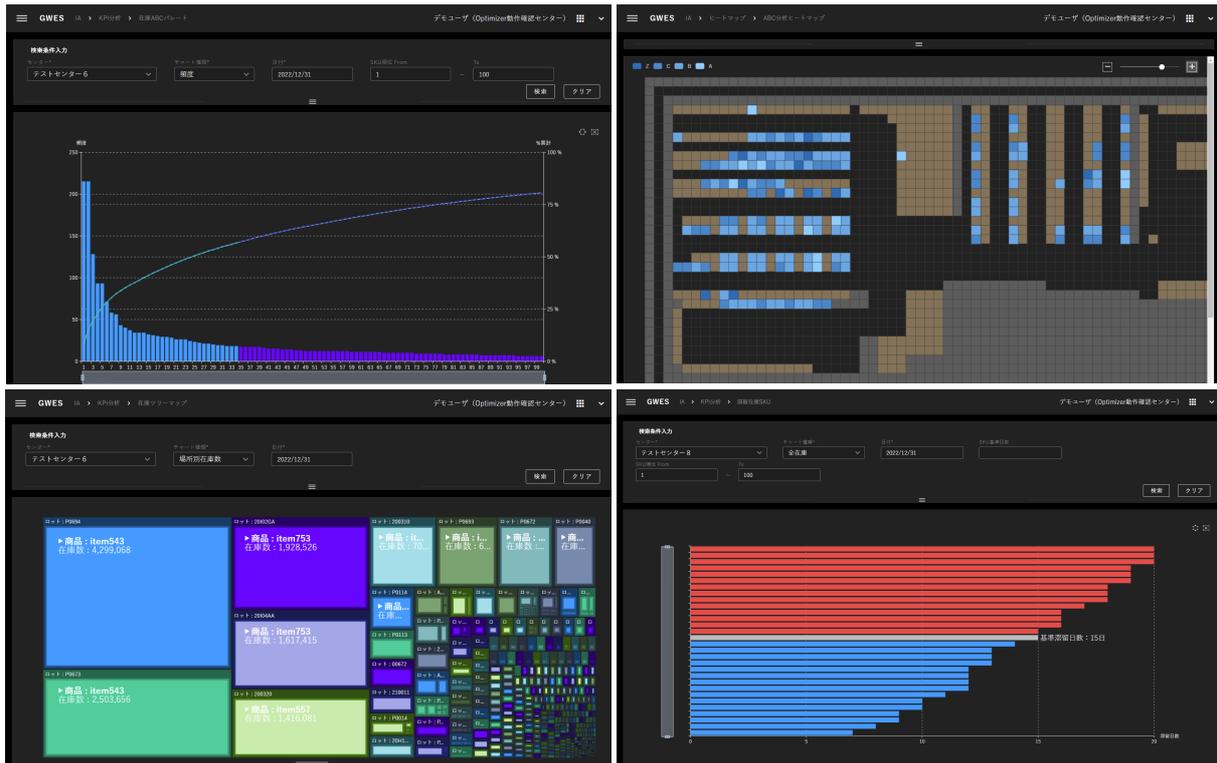
『Workload Forecast』による作業量予測結果の確認画面

また、作業量の予測結果は、既存の可視化系モジュールの一つ『Progress Analyzer』(業務進捗管理モジュール)の作業進捗管理機能において、作業終了時間の見込み管理にも利用することができます。

物流施設管理者の日々の重要業務である作業計画立案や要員計画立案業務において『Workload Forecast』の作業量予測結果を活用することにより、勘や経験に頼らない精度の高い計画立案が可能となります。

## ■ 在庫分析モジュール『Inventory Analyzer』の機能強化について

在庫分析モジュール『Inventory Analyzer』で提供していたマップ上での在庫可視化機能に加え、在庫の ABC パレート分析<sup>\*3</sup> やツリーマップによる可視化機能を追加し、物流施設内での多面的な在庫分析を実現します。また、さまざまな分析結果のドリルダウンも可能となり、より直感的な操作での在庫管理を支援します。



『Inventory Analyzer』の在庫分析・可視化画面  
 (左上より)「在庫 ABC パレート分析」、「在庫ヒートマップ」  
 (左下より)「在庫ツリーマップ」、「滞留在庫の検索・可視化」

GROUND は、今後も『GWES』を基盤とした次世代型物流施設および次世代物流の仕組みである『Hyper Warehouse』の構築支援を通じて、物流デジタルトランスフォーメーションの推進を目指すとともに、WES である『GWES』の継続的な機能モジュールの拡充と提供をします。

<sup>\*1</sup>:『LogiTech<sup>®</sup>』、『Intelligent Logistics<sup>®</sup>』は、GROUND 株式会社の登録商標または商標です。

<sup>\*2</sup>:Proof of Concept の略。新しい概念・理論・アイデアを実際の開発に移す前に、実現可能性や効果を検証する工程のこと。

<sup>\*3</sup>:「重点分析」とも呼ばれ、ある数値をもとにその累計割合を算出し、状況把握と管理方法の検討に役立つもの。

<参考資料>

2022年3月2日

[GROUND、物流施設統合管理・最適化システム『GWES』<sup>ジーダブルイーエス</sup>を試験利用できる『GWES トライアル \(PoC\) サービス』を3月より提供開始](#)

2021年6月15日

[GROUND、AIを活用した物流施設統合管理・最適化システム『GWES』を新たに自社開発し、2021年8月2日より提供開始](#)

[- 次世代型物流施設の基盤構築と物流DXを支援 -](#)

■ GROUND 株式会社について

GROUND は、“Intelligent Logistics®”の実現を目指して、物流領域における世界の先端テクノロジー (LogiTech®) に基づく革新的ソリューションの提供を行う企業です。代表の宮田をはじめとする GROUND メンバーは、ロジスティクス、サプライチェーンだけでなく、データサイエンスやマーケティングにおいても豊富な経験を持ち、国内外の最新のテクノロジーに関して幅広い知識やネットワークを有しています。これらを背景に、日々高度化・複雑化する物流オペレーションに対して、需要と供給のバランスを考慮する最適なハードウェア及びソフトウェアで構成されたソリューションを提供しています。

社名: GROUND 株式会社  
事業概要: テクノロジーを活用した物流ソリューションの提供  
設立: 2015年4月  
所在地: 東京都江東区青海二丁目7-4 the SOHO 3F  
代表者: 代表取締役社長 CEO 宮田 啓友  
資本金: 13.5億円(2021年12月末)  
URL: <https://www.groundinc.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先

GROUND 株式会社

コーポレートコミュニケーション室(広報):山田

MOBILE: 090-2700-8672

TEL: 03-6457-1650 FAX: 03-6457-1751

E-mail: [pr@groundinc.co.jp](mailto:pr@groundinc.co.jp)